

令和4年度 学力向上を図るための授業改善推進プラン

教科 : 英語科

Research ⇒ 現状分析・課題把握

1年生・・【授業、単元テスト、小テスト、実技テスト、定期考査など】⇒授業アンケートによると、98%の生徒が授業に意欲的に取り組み、友達やALTとの活動に意欲的に取り組んでいる。1学期期末考査は平均点76、観点別の平均得点率は、知識・技能が70%、思考・判断・表現が85%だった。書くことにおける幅広い範囲での知識・技能の課題解決に重点を置く。

2年生・・【授業、単元テスト、小テスト、実技テスト、定期考査など】⇒授業アンケートによると、95%の生徒が授業に意欲的に取り組み、友達やALTとの活動に意欲的に取り組んでいる。1学期期末考査は平均点54、観点別の平均得点率は、知識・技能が48%、思考・判断・表現が62.5%だった。書くことにおける幅広い範囲での知識・技能の課題解決に重点を置く。

3年生・・【授業、単元テスト、小テスト、実技テスト、定期考査など】⇒授業アンケートによると、全ての生徒が授業に意欲をもって取り組み、友達やALTとの活動に意欲的に取り組んでいる。1学期期末考査は平均点61、観点別の平均得点率は、知識・技能が60%、思考・判断・表現が61%だった。領域別テストの本校の平均点は標準点を11点上回っている。

Plan ⇒ 課題解決のための主な取り組み(計画)

《 I 基礎的・基本的な知識・技能の『習得』 》

1年生・・毎週の単語テストを継続して行い、語彙の定着を図る。定期考査で一定の達成率に満たない生徒を対象に再テストを行い、書くことの知識・技能を高める。自作のパワーポイントを活用し、基本文を繰り返し口頭練習させ、家庭学習で書くことを補わせる。これらを通して知識の定着を図る。また、友人やALTとやり取りや発表活動を通して技能を向上させる。

2年生・・単語テストを継続して行い、語彙の定着を図る。定期考査で一定の達成率に満たない生徒を対象に再テストを行い、書くことの知識・技能を高める。自作のパワーポイントスライドを活用し、基本文を繰り返し口頭練習させ、家庭学習で書くことを補わせる。これらを通して知識の定着を図る。また、友達やALTとやり取りする活動を通して技能を向上させる。

3年生・・自作のパワーポイントスライドを活用し、基本文を繰り返し口頭練習させ、復習となる家庭学習の課題に取り組みさせる。また友達やALTとのやり取りをする活動を行わせる。これらを通して知識・技能の定着・向上を図る。

《 II 思考力・判断力・表現力等の『活用』する力の育成 》

1年生・・自分自身のことや自分の身の回りのことを話したり書いたりする言語活動を行わせる。教科書内容について自身の意見や考えを英語で表現する機会を増やす。ALTとのコミュニケーションに発展させ、英語を使う機会を多く作り、英語で表現する力を向上させる。

2年生・・教科書の題材の内容について考えさせ、考えたことを表現したり発表させたりする。自身について書いたり発表したりする活動、登場人物になったつもりでメールを書く活動、街の名所を伝える活動などを行わせる。これらの活動を通して思考力・判断力・表現力を向上させる。

3年生・・教科書の題材の内容や社会的な話題について考えさせ、意見を述べたり発表させたりするこれらの活動を通してESAT-Jにおいて考えて話す力も高めていく。継続して「長文読み取りドリル」に取り組みさせ、思考力・判断力を高める。

《 III 『学ぶ意欲や態度』の向上、学習習慣の定着 》

1年生・・毎時間の授業終わり、パフォーマンステストや定期考査後に自分自身の振り返りをさせて、課題を把握させて学ぶ意識を高める。友達やALTと会話することで意欲を高めさせる。

2年生・・友達やALTとやり取りすることで意欲を高めさせる。毎時間の授業、ALTとの会話、パフォーマンステスト、定期考査の振り返りを行わせることで課題を把握させて学ぶ意欲を高めさせる。単語テストを継続して行い、全問正解という目標を持って取り組みさせる。

3年生・・友達やALTとやり取りすることで意欲を高めさせる。毎時間の授業、ALTとの会話、パフォーマンステスト、定期考査の振り返りを行わせることで課題を把握させて学ぶ意欲を高めさせる。自分自身の考えや体験を表現させ、ALTや教員が添削してフィードバックすることで、課題を把握させて学ぶ意欲を高めさせる。